

回り道をした分、深み



最近はクイズ番組などバラエティーでも活躍の場を広げる宮崎美子さん

熊本県立熊本高校は1900年の創設以来、「土君子(徳性、智能、体力)ともにすぐれた人物」の養成を教育目標に掲げる。県内有数の進学校である一方で、各方面に個性的な卒業生を送り出している。

女優の宮崎美子さん(58、77年卒)は、父の転勤のため、大分県の高校から2年生で熊本高校に編入した。声に出して本を読むことが小さいころから好きで、放送部に入った。3年生のときにはNHK杯全国高校放送コンテストの朗読部門で、全国大会決勝に残った実績を持つ。

熊本大学に進学。「地元で公務員にでもなるのかな」と漠然と考えていた。しかし3年の冬、

パンを脱いで水着姿になった。映像が全国的な話題となった。1年間大学を休学してテレビドラマにも出演。5年かけて大学を卒業後、本格的に芸能界に入った。

映画「乱(85年)での黒澤明監督との出会いが印象に残る。「芝居しなくていいんだよ」と励まされた。芸能界にまだ慣れていない25歳のときのこと。「この一言で『この世界にいいんだ』と自信を持たた」

首都圏を中心に3036教室を展開する学習塾「花まる学習会」代表の高濱正伸さん(57、77年卒)は宮崎さんと同学年。宮崎さんが転校してきたときは「先輩を含め男子は大騒ぎ。恋の対象にならないほど、かわいさが

別格だった」。

高校時代は野球部の練習と女の子の追っかけに夢中だった。野球部の練習は厳しくて、「今日こそ辞めよう」と毎日誓うものの、練習後に水をゴクゴクと飲んでいこううちに「俺、やっただぜ」という充実感がわいた。

勉強はまったくしなかったが、先生は「お前は自分で道を開いていくだろう」と言って、注意されたことは一度もなかった。結局、3浪4留して東京大学大学院を修了。回り道をしたが、アルバイトの講師をした塾や予備校では子どもにも人気があった。「遊んでいる間に様々な経験をして考えていた分、味になっているんです」

一方で、社会的引きこもりの問題の深刻さに気づいた。受験競争を勝ち抜くためではなく、「将来、メンが食える大人を育てたい」という強い思いから、93年に自ら学習塾を立ち上げた。現在、約1万6千人もの子どもが通う。思考力と国語力と野外体験を中心に、学ぶ意欲と人間力を伸ばす。理念は今も変わらな

い。「悔いのない人生を」と常に子どもたちに言っている。「その年代にやれることをやりきる」という一番です」



「高校のときは女の子にけっこうもてたんです」と高濱正伸さん